



2026年6月期 決算短信 (日本基準) (連結)

2026年8月10日

上場会社名 株式会社 きちりホールディングス
コード番号 3082 URL <https://www.kichiri.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 平川 昌紀
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 葛原 昭
定時株主総会開催予定日 2026年9月28日 配当支払開始予定日 2026年9月11日
有価証券報告書提出予定日 2026年9月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 06-6262-3456

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期の連結業績 (2025年7月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	16,730	11.1	638	9.8	576	4.3	222	△28.2
2025年6月期	15,056	9.5	581	△25.9	552	24.1	310	21.0

(注) 包括利益 2026年6月期 240百万円 (△18.6%) 2025年6月期 295百万円 (25.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年6月期	19.71	19.37	11.0	8.0	3.8
2025年6月期	27.43	26.99	16.7	7.6	3.9

(参考) 持分法投資損益 2026年6月期 一百万円 2025年6月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	7,236	2,319	28.9	185.28
2025年6月期	7,091	2,106	27.5	172.67

(参考) 自己資本 2026年6月期 2,093百万円 2025年6月期 1,951百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	771	△1,178	△62	1,655
2025年6月期	738	△782	△805	2,125

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年6月期	—	2.50	—	5.00	7.50	84	27.3	4.6
2026年6月期	—	2.50	—	5.00	7.50	84	38.0	4.2
2027年6月期(予想)	—	2.50	—	5.00	7.50		24.2	

3. 2027年 6月期の連結業績予想 (2026年 7月 1日～2027年 6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,100	6.9	530	4.8	500	5.3	270	3.4	23.89
通期	18,000	7.6	800	25.2	750	30.1	350	57.1	30.97

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名)

、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年6月期	11,324,600 株	2025年6月期	11,324,600 株
2026年6月期	24,923 株	2025年6月期	24,923 株
2026年6月期	11,299,677 株	2025年6月期	11,315,618 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進展したことに加え、雇用や所得環境の改善により、緩やかな回復の動きがみられました。しかしながら、先行きが懸念される対外情勢に加え、エネルギーや原材料価格の高騰、物価の上昇など懸念材料も多く、景気の先行きは不透明なまま推移いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、16,730百万円(前年同期比11.1%増)、営業利益638百万円(前年同期比9.8%増)、経常利益576百万円(前年同期比4.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益222百万円(前年同期比28.2%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

①飲食事業

当飲食業界におきましても、経済活動の正常化に伴う消費者の外出需要の増加に加え、インバウンド需要もあり回復の傾向が続いております。一方で、人材不足や食材費等の価格高騰は厳しさを増しており、事業環境は引き続き厳しい状況です。このような状況の中、当社グループは、モール・郊外型レストラン業態を中心に、全国へ店舗展開しており、トレンドを的確に捉える高い業態開発力を持っています。また、従業員一人ひとりが、当社グループの企業理念である「大好きがいっぱい」を表現し、当社グループ独自の“おもてなし”を提供することで競合他社との差別化を図ってまいります。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は16,102百万円(前年同期比10.4%増)、営業利益は463百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

②DXコンサルティング事業

DXコンサルティング事業については、当社がこれまで培ってきたプロデュース力やコンサルティング力を活かして多種多様な分野におけるブランドホルダーとのコラボレーションを実現することで新たな顧客価値を創造し、また人々の働き方やライフスタイルの変化から生まれる様々な課題を新しいテクノロジーによって解決するDXについても積極的に推進しております。このように事業を複数展開する中、DXコンサルティング事業で培ったノウハウが、日本全体の活力向上を目指す地方創生に寄与できると考え、2023年4月より、地方創生事業を行っております。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は692百万円(前年同期比26.2%増)、営業利益は174百万円(前年同期比52.9%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は7,236百万円となりました。

流動資産合計は2,989百万円となり、前連結会計年度末と比較して380百万円減少しております。減少の主な要因は、現金及び預金が470百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産合計は4,247百万円となり、前連結会計年度末と比較して525百万円増加しております。増加の主な要因は、有形固定資産が617百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は4,917百万円となりました。

流動負債合計は2,502百万円となり、前連結会計年度末と比較して70百万円減少しております。減少の主な要因は、未払金が123百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債合計は2,414百万円となり、前連結会計年度末と比較して2百万円増加しております。増加の主な要因は、長期借入金が45百万円減少した一方、長期前受収益が30百万円、資産除去債務が15百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は2,319百万円となり、前連結会計年度末と比較して212百万円増加しております。増加の主な要因は、利益剰余金が138百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における当社の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べて470百万円減少し、1,655百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は771百万円となりました。税金等調整前当期純利益491百万円及び減価償却費399百万円等によるものが要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は1,178百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,085百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は62百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入770百万円及び長期借入金の返済による支出802百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済の見通しにつきましては、国内の需要サイドでは、雇用環境の改善、賃上げトレンドの継続、インバウンド需要の拡大等により、堅調に推移すると予想されます。一方、供給サイドでは、年収の壁の上昇による緩和はあるものの、少子高齢化に伴う労働力不足は継続する見込みであることに加え、米国の政策動向、ロシア・ウクライナや中東情勢等、地政学的リスクに起因した国際情勢の不透明さもあり、原材料価格やエネルギーコストの高止まりが続くことが懸念される等、引き続き需給ギャップの深刻化が続くものと予想されます。

このような経営環境の中で、当社グループは、競争が激化している外食業界において持続的な成長を果たしていくために、多様な業態の開発を進めることでライセンスの蓄積を進め、ライセンスホルダーとして直営、DXコンサルティング事業の展開を図るとともに、新たなビジネスチャンスをつかむべく、柔軟かつ積極的に取り組んでまいります。

以上を踏まえ、翌期の業績予想は、売上高18,000百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益800百万円（前年同期比25.2%増）、経常利益750百万円（前年同期比30.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益350百万円（前年同期比57.1%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、また、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

今後も、IFRSの適用については国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,125,550	1,655,002
売掛金	562,371	601,717
原材料及び貯蔵品	122,570	156,957
前払費用	188,365	226,565
預け金	154,448	182,207
未収入金	143,702	139,799
その他	72,843	26,795
流動資産合計	3,369,852	2,989,044
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,687,176	2,210,364
車両運搬具(純額)	11,478	7,655
工具、器具及び備品(純額)	399,534	509,051
建設仮勘定	71,280	59,778
有形固定資産合計	2,169,470	2,786,849
無形固定資産		
のれん	23,908	10,858
ソフトウェア	33,636	15,924
電話加入権	737	737
無形固定資産合計	58,283	27,520
投資その他の資産		
投資有価証券	103,579	66,668
長期前払費用	10,086	9,380
繰延税金資産	270,646	252,732
差入保証金	1,010,727	1,005,255
関係会社長期貸付金	100,000	100,000
貸倒引当金	△886	△894
投資その他の資産合計	1,494,153	1,433,143
固定資産合計	3,721,907	4,247,513
資産合計	7,091,760	7,236,557

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	388,720	430,413
1年内返済予定の長期借入金	734,295	746,844
未払金	488,276	364,471
未払費用	483,864	509,746
未払法人税等	172,094	122,337
未払消費税等	123,983	146,212
株主優待引当金	40,698	47,178
資産除去債務	—	14,115
その他	141,438	121,650
流動負債合計	2,573,371	2,502,969
固定負債		
長期借入金	2,256,732	2,211,319
資産除去債務	150,857	166,048
長期前受収益	—	30,528
その他	4,286	6,369
固定負債合計	2,411,875	2,414,265
負債合計	4,985,246	4,917,234
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,684	714,684
資本剰余金	1,015,908	1,015,908
利益剰余金	248,194	386,216
自己株式	△21,003	△21,003
株主資本合計	1,957,783	2,095,805
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,665	△2,171
その他の包括利益累計額合計	△6,665	△2,171
新株予約権	38,579	40,491
非支配株主持分	116,815	185,196
純資産合計	2,106,513	2,319,323
負債純資産合計	7,091,760	7,236,557

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
売上高	15,056,528	16,730,706
売上原価	4,329,296	4,751,458
売上総利益	10,727,231	11,979,248
販売費及び一般管理費	10,145,404	11,340,449
営業利益	581,827	638,798
営業外収益		
受取利息	715	1,898
助成金収入	—	1,299
受取保険金	4,657	—
為替差益	3,190	414
差入保証金回収益	—	2,000
その他	399	635
営業外収益合計	8,963	6,249
営業外費用		
支払利息	25,918	43,220
支払手数料	2,606	4,303
その他	9,284	20,952
営業外費用合計	37,809	68,476
経常利益	552,981	576,571
特別利益		
固定資産売却益	3,899	—
子会社清算益	1,283	—
特別利益合計	5,182	—
特別損失		
減損損失	16,232	32,837
子会社清算損	29	—
固定資産除却損	449	15,043
投資有価証券評価損	—	36,911
特別損失合計	16,710	84,791
税金等調整前当期純利益	541,452	491,779
法人税、住民税及び事業税	206,887	239,366
法人税等調整額	28,767	20,036
法人税等合計	235,655	259,402
当期純利益	305,797	232,376
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△4,632	9,607
親会社株主に帰属する当期純利益	310,429	222,769

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
当期純利益	305,797	232,376
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△10,241	7,996
その他の包括利益合計	△10,241	7,996
包括利益	295,555	240,373
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	306,382	227,264
非支配株主に係る包括利益	△10,827	13,109

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	714,684	1,023,908	22,699	△9	1,761,283
当期変動額					
剰余金の配当			△84,934		△84,934
親会社株主に帰属する 当期純利益			310,429		310,429
自己株式の取得				△20,994	△20,994
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△8,000			△8,000
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△8,000	225,495	△20,994	196,500
当期末残高	714,684	1,015,908	248,194	△21,003	1,957,783

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	為替換算調 整勘定	その他の包 括利益累計 額合計			
当期首残高	△2,619	△2,619	36,666	44,465	1,839,796
当期変動額					
剰余金の配当					△84,934
親会社株主に帰属する 当期純利益					310,429
自己株式の取得					△20,994
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動					△8,000
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△4,046	△4,046	1,912	72,350	70,216
当期変動額合計	△4,046	△4,046	1,912	72,350	266,717
当期末残高	△6,665	△6,665	38,579	116,815	2,106,513

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	714,684	1,015,908	248,194	△21,003	1,957,783
当期変動額					
剰余金の配当			△84,747		△84,747
親会社株主に帰属する 当期純利益			222,769		222,769
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計			138,022		138,022
当期末残高	714,684	1,015,908	386,216	△21,003	2,095,805

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	為替換算調 整勘定	その他の包 括利益累計 額合計			
当期首残高	△6,665	△6,665	38,579	116,815	2,106,513
当期変動額					
剰余金の配当					△84,747
親会社株主に帰属する 当期純利益					222,769
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	4,494	4,494	1,912	68,381	74,787
当期変動額合計	4,494	4,494	1,912	68,381	212,809
当期末残高	△2,171	△2,171	40,491	185,196	2,319,323

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	541,452	491,779
減価償却費	346,270	399,688
子会社清算損益(△は益)	△1,253	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	36,911
減損損失	16,232	32,837
のれん償却額	13,041	13,050
長期前払費用償却額	2,122	3,859
株式報酬費用	1,912	1,912
株主優待引当金の増減額(△は減少)	12,651	6,479
有形固定資産除売却損益(△は益)	△3,450	15,043
貸倒引当金の増減額(△は減少)	109	8
受取利息及び受取配当金	△715	△1,898
支払利息	25,918	43,220
売上債権の増減額(△は増加)	△78,383	△39,299
棚卸資産の増減額(△は増加)	△18,476	△33,501
立替金の増減額(△は増加)	213,840	46,071
仕入債務の増減額(△は減少)	34,275	40,422
未払金の増減額(△は減少)	38,379	△1,382
未払費用の増減額(△は減少)	△9,518	25,003
未収入金の増減額(△は増加)	△75,441	5,104
未払消費税等の増減額(△は減少)	△130,257	22,228
前受収益の増減額(△は減少)	16,685	△47,721
長期前受収益の増減額(△は減少)	△24,562	30,528
預け金の増減額(△は増加)	27,181	△27,301
預り金の増減額(△は減少)	△14,102	26,438
その他	△33,007	6,497
小計	900,904	1,095,981
利息及び配当金の受取額	715	1,898
利息の支払額	△25,557	△41,703
法人税等の支払額	△137,540	△285,124
営業活動によるキャッシュ・フロー	738,522	771,052
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△644,321	△1,085,892
有形固定資産の売却による収入	4,181	—
無形固定資産の取得による支出	△907	△764
子会社の清算による収入	15,086	—
差入保証金の差入による支出	△167,022	△37,628
差入保証金の回収による収入	14,528	21,086
資産除去債務の履行による支出	—	△70,731
長期前払費用の取得による支出	△4,295	△4,390
投資活動によるキャッシュ・フロー	△782,748	△1,178,320

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	770,000
長期借入金の返済による支出	△775,397	△802,864
自己株式の取得による支出	△20,994	—
非支配株主からの払込みによる収入	83,177	55,272
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△8,000	—
配当金の支払額	△84,602	△84,780
財務活動によるキャッシュ・フロー	△805,816	△62,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,904	△906
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△857,947	△470,547
現金及び現金同等物の期首残高	2,983,497	2,125,550
現金及び現金同等物の期末残高	2,125,550	1,655,002

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、提供するサービスの特性から、報告セグメントを「飲食事業」「DXコンサルティング事業」の2つとしております。

当社の「飲食事業」においては、「KICHIRI業態」、「いしがまやハンバーグ業態」、「韓国料理業態」など、多様な飲食サービス業を行っております。「DXコンサルティング事業」では、「DX事業」、「地方創生事業」の事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	連結財務諸表計上額(注2)
	飲食事業	D X コンサルティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	14,583,350	473,177	15,056,528	—	15,056,528
セグメント間の内部売上高または振替高	—	75,727	75,727	△75,727	—
計	14,583,350	548,905	15,132,255	△75,727	15,056,528
セグメント利益	467,434	114,393	581,827	—	581,827
その他の項目 減価償却額	318,893	27,376	346,270	—	346,270

(注) 1 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 セグメント資産の金額は、当社では報告セグメントに資産を配分していないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	連結財務諸表計上額(注2)
	飲食事業	D X コンサルティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	16,102,422	628,284	16,730,706	—	16,730,706
セグメント間の内部売上高または振替高	—	64,337	64,337	△64,337	—
計	16,102,422	692,621	16,795,044	△64,337	16,730,706
セグメント利益	463,866	174,932	638,798	—	638,798
その他の項目 減価償却額	380,778	18,910	399,688	—	399,688

(注) 1 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 セグメント資産の金額は、当社では報告セグメントに資産を配分していないため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	飲食事業	D Xコンサルティング事業	合計
減損損失	16,232	—	16,232

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位:千円)

	飲食事業	D Xコンサルティング事業	合計
減損損失	32,837	—	32,837

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位:千円)

	飲食事業	D Xコンサルティング事業	合計
当期償却費	—	13,041	13,041
当期末残高	—	23,908	23,908

当連結会計年度(自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位:千円)

	飲食事業	D Xコンサルティング事業	合計
当期償却費	—	13,050	13,050
当期末残高	—	10,858	10,858

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり純資産額	172円67銭	185円28銭
1株当たり当期純利益	27円43銭	19円71銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	26円99銭	19円37銭

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	2,106,513	2,319,323
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	155,395	225,688
(うち新株予約権(千円))	(38,579)	(40,491)
(うち非支配株主持分(千円))	(116,815)	(185,196)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,951,118	2,093,634
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	11,299,677	11,299,677

3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	310,429	222,769
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	310,429	222,769
普通株式の期中平均株式数(株)	11,315,618	11,299,677
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	187,748	200,365
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。